

地域の農業を見て・知って・活かすDB

～農林業センサスを中心とした総合データベース～

分析事例作成方法



ここでは【分析事例13】洪水浸水想定区域と農業経営体等の状況の作成方法を紹介します。

使用するデータ一覧

表名（ファイル名称）	年次	利用項目（対象列）	掲載場所
調査客体 (SA0001_2020_2020_〇〇.xlsx)	2020	農業経営体（N列）	農林業センサス
〇〇県農業集落境界 (MA0001_2020_2020_〇〇.zip)	2020	農業集落境界	農業集落境界データ
洪水浸水想定区域 (31-22_10_0000_SHP.zip)	2022	20_想定最大規模	国土数値情報
農地の区画情報（筆ポリゴン） (MB0001_2024_2020_00.zip)	2024	筆ポリゴン (MB0001_2024_2020_00.fgb)	筆ポリゴンデータ

データのダウンロード方法

農林業センサスデータはEXCEL形式で都道府県別に掲載されています。ダウンロード後、データは任意のフォルダに保存してください。農業集落境界、洪水浸水想定区域(注1)、農地の区画情報（筆ポリゴン）(注2)のzipファイルは展開して同じフォルダに保存してください。

※（注1）、（注2）については、文末の参考1、2を参照ください。

ダウンロード（外部リンク）

データ名をクリックするとデータ一覧が表示されます。

1. 農林業経営体_調査客体
使用する項目をクリック
2. 農林業経営体_組織形態別経営体数
3. 農業経営体_組織形態別経営体数

01. 北海道（エクセル）: 874KB	02. 青森県（エクセル）: 235KB	03. 岩手県（エクセル）: 433KB
04. 宮城県（エクセル）: 357KB	05. 秋田県（エクセル）: 358KB	06. 山形県（エクセル）: 357KB
07. 福島県（エクセル）: 545KB	08. 茨城県（エクセル）: 519KB	09. 栃木県（エクセル）: 429KB
10. 群馬県（エクセル）: 276KB	11. 埼玉県（エクセル）: 574KB	12. 千葉県（エクセル）: 482KB
13. 東京都（エクセル）: 726KB	14. 神奈川県（エクセル）: 217KB	15. 新潟県（エクセル）: 639KB
16. 富山県（エクセル）: 300KB	17. 石川県（エクセル）: 281KB	18. 福井県（エクセル）: 229KB
19. 山梨県（エクセル）: 218KB	20. 長野県（エクセル）: 603KB	21. 岐阜県（エクセル）: 408KB
22. 静岡県（エクセル）: 470KB	23. 愛知県（エクセル）: 479KB	24. 三重県（エクセル）: 306KB
25. 滋賀県（エクセル）: 220KB	26. 京都府（エクセル）: 246KB	27. 大阪府（エクセル）: 211KB
28. 兵庫県（エクセル）: 528KB	29. 奈良県（エクセル）: 203KB	30. 和歌山県（エクセル）: 227KB
31. 鳥取県（エクセル）: 220KB	32. 徳島県（エクセル）: 489KB	33. 岡山県（エクセル）: 391KB
34. 広島県（エクセル）: 670KB	35. 山口県（エクセル）: 511KB	36. 香川県（エクセル）: 283KB
37. 愛媛県（エクセル）: 317KB	38. 高知県（エクセル）: 317KB	39. 福岡県（エクセル）: 264KB
40. 佐賀県（エクセル）: 203KB	41. 大分県（エクセル）: 211KB	42. 熊本県（エクセル）: 340KB
43. 宮崎県（エクセル）: 211KB	44. 鹿児島県（エクセル）: 211KB	45. 沖縄県（エクセル）: 211KB

目的の県をクリック

地図に取り込むデータの作成

- 1 SA0001_2020_2020_〇〇.xlsxを展開し、N列（青線）全体を指定し、「-」を「0」に置換します。次に、使用しないJ列～M列（赤線）、O列～Q列（赤線）を削除し、農業集落境界と同じフォルダに保存します。

J	K	L	M	N	O	P	Q
農林業経営体	農業と林業を行っている経営体	農業のみを行っている経営体	林業のみを行っている経営体	農業経営体	農業経営体家族経営	林業経営体	林業経営体家族経営
21924	...	...	...	21117	...	1796	...
3030	...	...	...	3009	...	36	...
585	...	...	...	574	...	12	...
1	...	...	...	1	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...
1	...	...	...	1	...	...	...

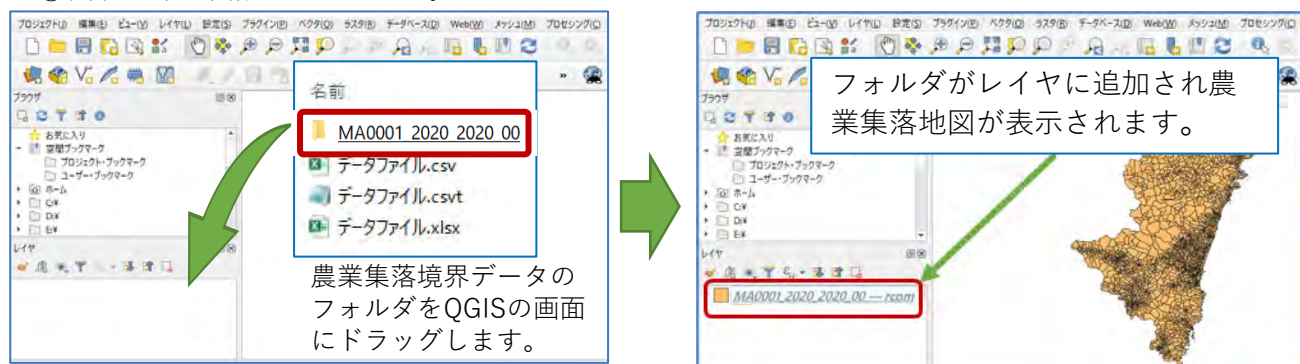


J
農業経営体
21117
3009
574
1
0
0
1

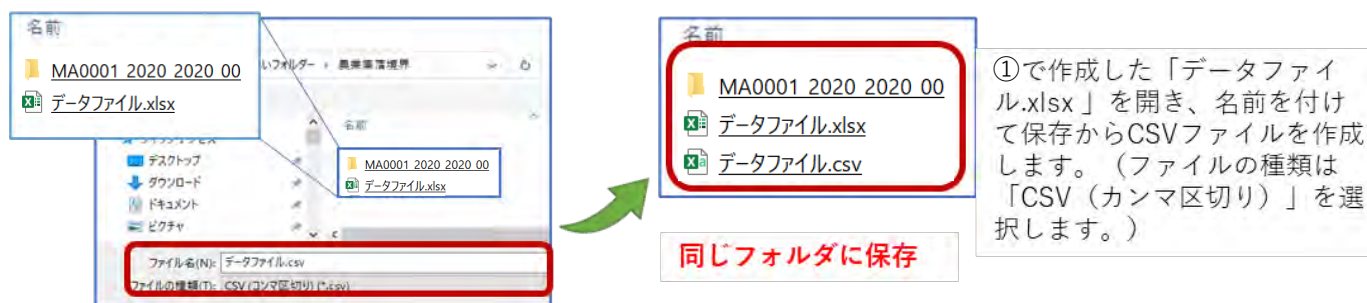
活かすDBのデータを使って作成した分析データを地図化

2 地図ソフト（QGIS）を起動し、農業集落境界データ（解凍済フォルダ）を読み込みます。

※②以降の工程の画像はイメージです。



3 ①で作成した「データファイル.xlsx」から「データファイル.csv」を作成します。



4 CSVファイルを作成します。

CSVファイルが格納されているフォルダに、CSVファイルと同じファイル名のテキストファイル（メモ帳等、拡張子は.csvt）を作成します。（詳しくはデータ利用の手引をご覧ください。）

作成するファイル データファイル.csvt

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
string,string,string,string,string,string,string,string,string,real

string（文字列）が9個

real（数値）が1個

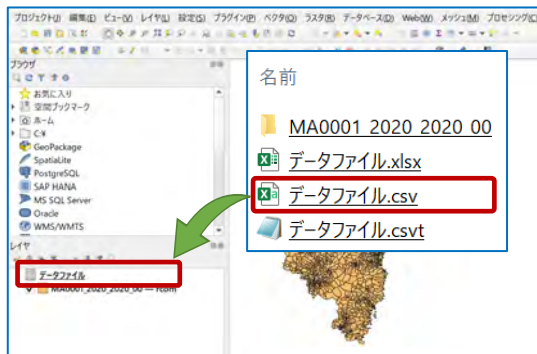
データファイル.csv

key	pref	city	kcity	rcom	pref_name	city_name	kcity_name	rcom_name	農業経営体
0000000000	000	00	000	000	000				14330

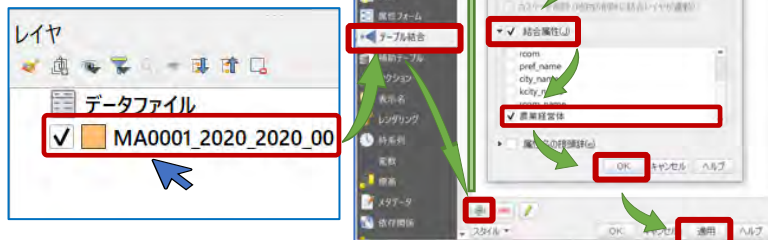
string（文字列）が9個

real（数値）が1個

5 データファイル（CSV形式）を読み込みます。

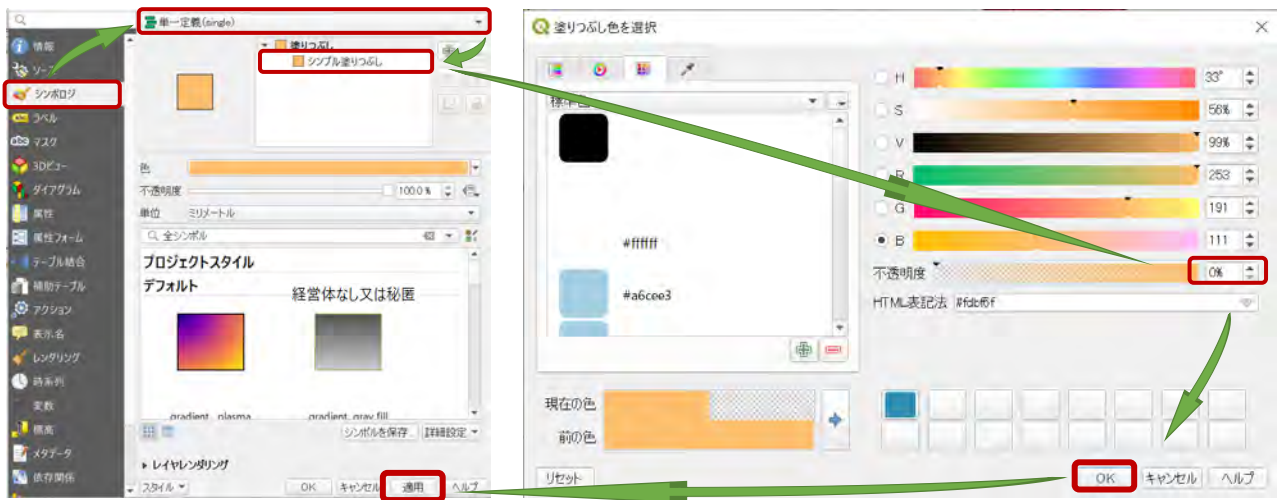


6 データファイルと境界データを結合します。

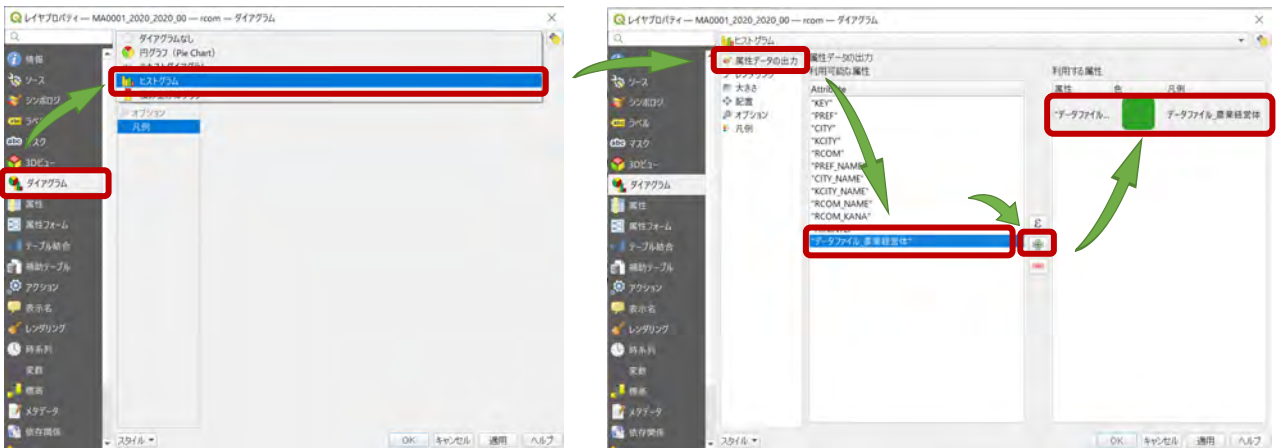


レイヤパネルの農業集落境界をダブルクリック、現れたレイヤプロパティの「テーブル結合」を選択し下部の「+」をクリックします。「結合するレイヤ」のファイル名を「データファイル」にして、「結合属性」をチェック（レ）後、「結合項目」の「農業経営体」をチェック（レ）し「OK」、「適用」の順にクリックします。

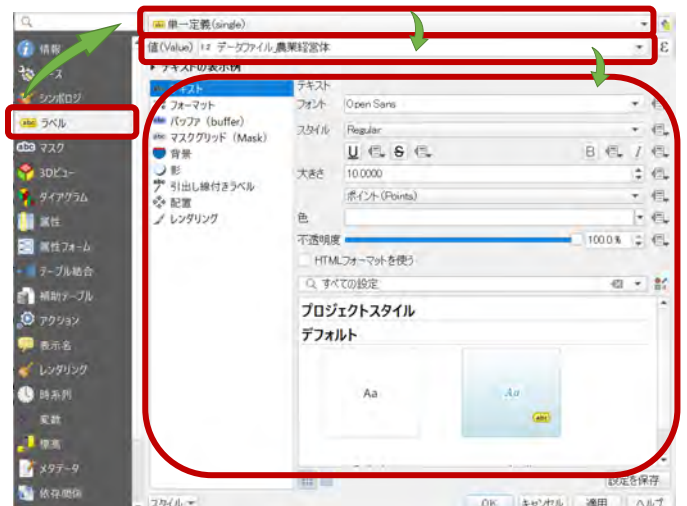
- 7 ⑧以降で表示させる棒グラフ等を見やすくするために、地図の色を不透明度0%にします。
シンボロジをクリックして「単一定義」→「シンプル塗りつぶし」→不透明度を0%にします。



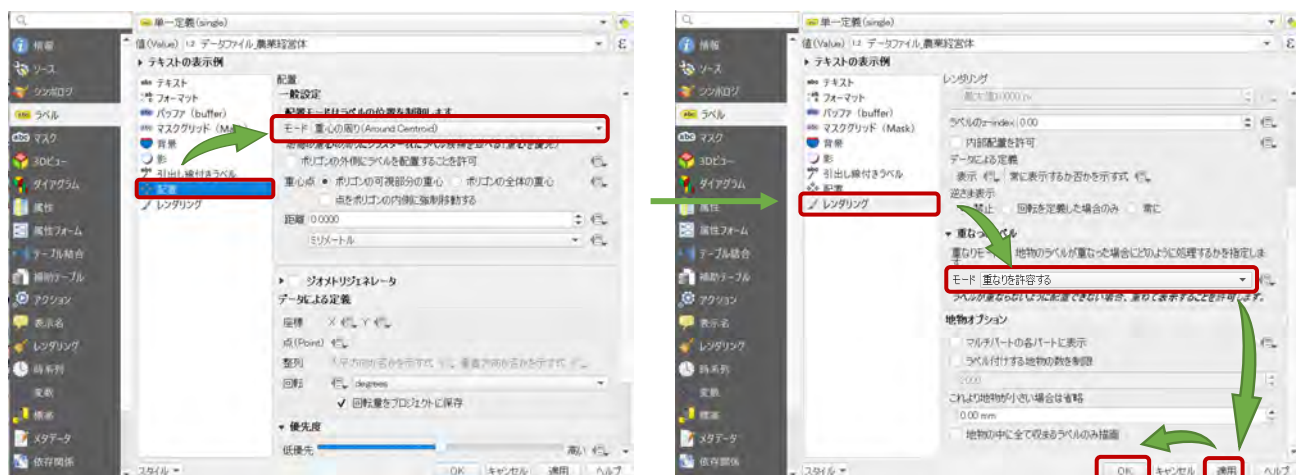
- 8 農業経営体数の棒グラフを作成します。
ダイアグラムをクリックして「ヒストグラム」を選択します。
- 9 属性データの出力をクリックし、利用可能な属性から「データファイル_農業経営体」を選択し「+」をクリックします。利用する属性で色などを設定します。



- 10 「大きさ」を選択し「可変サイズ」をチェックします。次に「属性」から「データファイル_農業経営体」を選択します。「最大値」は「検索」ボタンをクリックすると自動で表示されます。最後に「バーの長さ」を設定します。
- 11 棒グラフに農業経営体数を表示させます。
ラベルをクリックし「単一定義」を選択し値(Value)で「データファイル_農業経営体」を選択します。テキストをクリックし文字の色、スタイル、大きさなどを設定します。



- 12 配置をクリックし一般設定の「モード」から「重心の周り(Around Centroid)」を選択します。レンダリングをクリックし、重なったラベルのモードから「重なりを許容する」を選択します。



- 13 下図の右側、地図表示部のようなヒストグラムが設定されます。これに洪水浸水想定区域を追加するために、当該データをレイヤパネルにドラッグ&ドロップします。

